東京朝日新聞原稿用紙

私の務言葉とおして忘れたのであらうが、私は始終昔ばかりを思って居るのではない、それだからこは何時何でも無いことだらうかも知れぬが、それのみは追憶を求めるのが大いに待つと

一

特別
14
2090
2(11)